



まちづくり活動が盛り上がるよう、市などが行う支援事業や、まちづくり団体、サークルなどを紹介します。

親子で遊ぶように学ぶ「食の多様な選択」

社会には、さまざまな理由で人と同じ食事を食べることができない人がいます。私たちは、その1つ「^{えんげ}嚥下機能障害」に焦点を当て、嚥下食などを体験することで、食の選択肢を確保する必要性を考えるきっかけをつくりたいと考えました。

そこで、令和8年度まちづくり活動助成金事業を活用し、噛むことや飲み込むことについて考える、親子向けのワークショップを実施します。

テーマは音。食べ物を食べるとき、私たちはどんな音を出しているのでしょうか。

期日 10月11日(日)

時間 ▷10:00～11:00(受付9:45～)▷13:00～14:00(受付12:45～)

場所 学びの森(那加雲雀町)

対象 年長～小学6年のお子さんとその保護者

定員 各10組(合計40人程度、申込順)

申込 ワークショップブースで受付

詳細 ▷一般社団法人 frolic design・柚木(frolicdesign.gifu@gmail.com)▷まちづくり推進課
☎058-383-1997



美しい住環境を自分たちの手で管理

上池クラブは、つつじが丘中央公園東広場・上池周辺の緑化整備を行うパークレンジャーです。花壇の整備、清掃、樹木の^{せんてい}剪定、通学路などで歩行の妨げとなる落ち葉や枝の除去などを行います。



今年度は、これからも美しい住環境を自分たちの手で管理していけるよう、まちづくり活動助成金を活用し、機械の導入による作業の効率化や、これまでほとんど関わりのなかった地域の方とのコミュニケーションに力を入れていきます。

6月13日の花の苗植えには、自治会の関係者や初めて花を植える子どもたちにもご参加いただ

き、マリーゴールドや日日草、ブルーサルビアなど320本の植栽を行いました。また、7月18日には、これまでクラブ内だけで開催していた流しそうめん大会を地域で開き、親子を中心に57名の方に楽しんでいただきました。つつじが丘では子ども会の解散などの影響で子どもが地域に関わる機会が減っていることから、いずれも保護者から「貴重な体験だった」と喜んでいただきました。

顔を合わせ、楽しい時間を共有することで、地域内でのコミュニケーションや相談もしやすくなると思います。花や木が好きな方、コミュニケーションが好きな方、私たちと一緒に活動しませんか。

詳細 上池クラブ・立元☎080-3610-6931

災害時専門ボランティア受入研修

災害が起きた後の避難者の生活再建のための支援には、専門機関や被災者支援の団体だけでなく、日頃から地域福祉やまちづくりなどの活動に携わる皆さんの専門性や地域住民との関係性などがが必要です。市民活動やボランティアの皆さんが、自分たちの安全を確保しながら避難者支援の活動が行えるよう、災害時の岐阜県全体の動きを知り、日常の活動に取り入れるべき備えなどについて、参加者同士で話し合ってみませんか。

日時 11月12日(木) 13:30～16:00

場所 産業文化センター2階第3会議室(那加桜

町2)

対象 NPO活動・ボランティア活動をしている方、団体同士や地域住民のつながりづくりを担っている方など

講師 伊藤三枝子・清流の国ぎふ女性防災士会会長

内容 災害時専門ボランティア受入研修「日常のボランティアが避難生活に生きる!?～社会的弱者の避難生活を考える～」

申込・詳細 インターネットで、特定非営利活動法人ぎふNPOセンター・野尻☎058-275-9738

